

緑の教育

緑の自然のごとく あしたをひらく豊かな心

緑の若葉のごとく あしたを創る確かな学力

緑の大樹のごとく あしたを担うたくましい身体

尊い姿

始良・伊佐教育事務所長 児玉 恭子

早いもので、令和5年も終わりに近づいています。今年も、いろいろな研究授業・研修の場に同席させていただきました。毎回、先生方の協議の姿が活性化してきているなあと感じています。「ここでもっと〇〇という発言が子供たちから出るとよいですね。」「そのためには、導入で□□にも触れた方がよいのかもしれないね。」子供の姿を中心に、学校の枠を超えて皆さんで授業を練り上げるというこの取組は、きっと地区内の子供たちの姿に反映されてくるものと信じています。

フレッシュ研修も、回を重ねる度に先生方の表情がよくなり、話合いに深まりが出てきていますし、ステップアップ研修で集まった先生方の姿は、協議も発表も生き生きとしていて、本当に頼もしく思いました。「結局、どんな時もコミュニケーション力が重要ですね。」「子供たちに、まずはこんな力を付けさせたいんです。」先生方の成長の様子が見て取れ、見ているだけで嬉しくなりました。学び続ける先生方の姿がこんなにもすばらしく、周りにもパワーを与えるものかと。

私も、同じくらいの時期に「なぜ教師になったのか。」と聞かれたことを思い出しました。「そうですね・学校がとにかく楽しい場所で、出会った先生方が皆さん楽しそうだったからでしょうか。」実際はうまくいかず苦しいこともたくさんありましたが、子供たちや他の先生方との心の触れあいを通じここまで教育に携わっていることはありがたいことだなあと感じ、今も本地区の先生方の姿に励まされ子供たちの成長に関わっていることに心から感謝しています。

年が明けますと、1年の総仕上げとなる3学期を迎えます。私たちは本年度の教育活動の成果を子供の姿に見なければなりません。本号も、学力向上・授業づくり・生徒指導等の面から、これまでの取組状況を振り返り、向上や改善に向けたお願いと情報提供をさせていただきます。皆で子供たちのためにより取組ができたこと、清々しい気持ちで年度末を迎えられますよう、総仕上げに向けてともに頑張ってみましょう。

民間団体等の調査によれば、小中高校生の将来になりたい職業で、教師は引き続き上位に位置している。

少なくない子供たちや学生、他の職種の経験者等が教職を志すのは、子供たちの人生に影響を与え、成長を実感できるという、他では得がたい経験のできる教師という職業に魅力を感じているから、との見方も可能である。子供たちにとって、自分に寄り添ってくれたり、温かく見守ってくれたりした教師に出会い、「自分もこうなりたい」と強く心打たれた経験こそが、次代の教師の育成の第一歩である。

(文科省 教育人材政策課資料より一部抜粋)

(サザンカ 花言葉：困難に打ち勝つ 成長)



シリーズ!始良・伊佐教育事務所員が紹介する私の元気の出る言葉 ⑭

「もともと地上には道はない。歩く人が多くなれば、それが道になるのだ。」

(『故郷』 魯迅 竹内 好 訳)

この言葉は、中学校3年生の国語の教科書に掲載されている、魯迅『故郷』の最後の一節である。暗い展開の中で、唯一力強いこの言葉には、「同じ希望を目指して行動する人が多くなれば、希望はきっと実現するだろう。」という魯迅の思いが込められている。

この言葉と出会ったのは、私が中学1年生のとき。校舎1階の正面にこの言葉が額に入れて飾られていた。毎日、校舎に入るたびに目にした言葉であった。そのときは、「そうだな。たしかに道は誰かが歩いた後にできている。」としか思わなかった。しかし、『故郷』を学び終えた後、この言葉の意味を知り、「希望の実現」とこの言葉を結びつけ、校舎の正面に飾られているわけを初めて理解した。

魯迅が目指した希望と、私が目指す希望は違う。しかし、私はこの言葉をこのようにも捉えている。「同じ希望をもつ仲間と力を合わせることはもちろん、努力を重ねることにより、希望は実現する」と。

徒労に終わるかもしれない。無駄になるかもしれない。しかし、いつか希望が叶うことを信じて、これからも努力していきたい。(I・T)

子供たちの学力向上のために

令和5年度鹿児島学習定着度調査 令和6年1月16日(火)・17日(水)

児童生徒質問紙・学校質問紙：令和5年12月15日(金)までにGoogleフォームにて回答, 集計

調査の概要

学習指導要領において身に付けることが求められている学力の状況及び児童生徒の学習に関する意識や学び方などの学習状況, 学校の指導方法等の取組状況の把握

全国学力・学習状況調査鹿児島県結果分析資料の活用を！



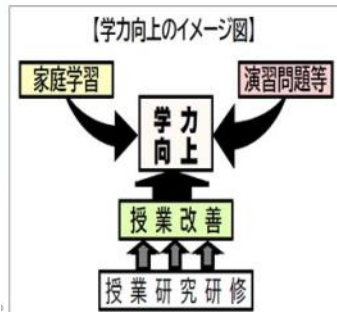
CHECK!

『令和5年度全国学力・学習状況調査鹿児島県結果分析』で、本県の学力向上に関する最新の情報を把握しましょう！

今回は、以下の2つの観点から考察がなされています。
 考察① 「確かな学力」は身に付いているか。
 考察② 学習者主体の授業への転換は図られているか。

学力向上のために演習問題等の取組も大切に！

学力向上のためには、「授業改善」と併せて子供の実態に応じて計画的に行う「演習問題等」や「家庭学習」の取組が欠かせません。【下図参照】







国や県が作成した調査問題や報告書等は、自校における学力や学習状況の課題, 改善点を見付ける上で貴重な資料です。学力向上のために繰り返し参照して授業改善に生かしていきましょう。

「考え、議論する」道徳の授業づくりのために

令和5年10月26日(木)に、始良・伊佐地区フレッシュ研修第2回研究授業研修(道徳科)を始良市立建昌小学校と霧島市立国分南中学校で実施しました。授業研究後に行った研究協議では、「自分事として問題を捉えるために」「主体的に考え、話し合うために」「本時で中心となる道徳的価値に迫るために」「ICT機器の活用について」の4点について、互いの実践を紹介しながらポイントをまとめていきました。具体的な実践を基に、活発な意見交換となり、充実した協議が行われました。以下は、各グループでまとめたキーワードをAIテキストマイニングを活用して、ワードクラウドで可視化したものです。



			
【自分事として捉える】	【主体的に考え、話し合う】	【道徳的価値に迫る】	【ICT機器の活用】

研修のまとめで書いた「教師としての第四步」では、「子供の本音を引き出す発問の工夫に努めたい。」「自己を見つめる時間を十分に確保していきたい。」という感想が見られました。
道徳科では、ねらいとする道徳的価値について自分との関わりで主体的に考え、互いの価値観を交流し合うことで自分の価値観を深め、新たな見方や考え方を生み出していく授業が求められます。 今後も「考え、議論する」道徳の授業充実に努めてほしいと思います。

いじめ・不登校の対策～1人1人に寄り添った対応を！～

1 いじめについて【令和5年10月6日 令和4年度児童生徒の問題行動・不登校等（鹿児島県公立学校）の状況について参照】

＜いじめの認知件数＞（ ）は1,000人あたりの認知件数（単位：件）

校種 年度	鹿児島県（公立）			全国（国公立）		
	R3	R4	前年比較	R3	R4	前年比較
小学校	7,379 (83.9)	7,571 (86.5)	+152	500,562 (79.9)	551,944 (89.1)	+51,382
中学校	2,499 (57.8)	2,932 (67.6)	+433	97,937 (30.0)	111,404 (34.3)	+13,467
合計	9,878	10,503	+585	598,499	663,348	+64,849

- ・ いじめの認知件数は、全国・県ともに増加しています。
- ・ 学校が積極的に認知し、早期解決に努めていると捉えられます。

＜今後の対策＞

- いじめ基本方針について
学校の実情に応じているかを点検し、**必要に応じて見直す**こと。また、保護者や地域住民がその内容を容易に確認できるよう、**各学校のホームページに掲載する等の措置を講じる**とともに、学校運営協議会等も活用して、保護者や地域住民との連携を図ること。
- いじめの積極的な認知と適切な対応
いじめを漏れなく認知するために、全ての教職員がいじめ対策推進法におけるいじめの定義を確認し、**積極的な認知を行う**とともに、**学校を挙げて早期発見に向けた取組を行う**こと。また、**いじめの認知件数が0件であった学校は、児童生徒や保護者向けに公表し、検証を仰ぐ**ことで認知漏れがないか確認すること。

2 不登校について

＜不登校児童生徒数＞（ ）は1,000人あたりの不登校児童生徒数（単位：人）

校種 年度	鹿児島県（公立）			全国（国公立）		
	R3	R4	前年比較	R3	R4	前年比較
小学校	833 (9.5)	1,240 (14.2)	+407	80,825 (13.2)	104,265 (17.2)	+23,440
中学校	2,153 (49.8)	2,503 (57.7)	+350	157,019 (52.6)	185,810 (62.7)	+28,791
合計	2,986	3,743	+757	237,844	290,075	+52,231

- ・ 不登校児童生徒数は、全国、県、地区も増加しています。
- ・ 4・5月に、新規の不登校出現率が高くなる傾向があります。学校間・学年間の連携、児童生徒の様子を見取ることも大切です。

＜今後の対策＞

- 不登校児童生徒への支援の充実
1人1人の児童生徒の状態を把握するとともに、各市町に設置されている教育支援センターや、フリースクール等と連携するなど、学校内外の多様な学びの場の確保に努めること。
- 魅力ある学校づくり、学級づくり
「生徒指導提要」（P229参照）にもあるが、**全ての児童生徒が安全・安心な居場所となるような取組を進める**こと。また、個々の学びを保障する**分かりやすい授業づくり**に努めること。

【キャリア・パスポートの活用】
児童生徒に、自分の将来や生き方について考えさせることを通して、これからの具体的な目標を立てさせる。

【生活リズムの確立】
生活リズムを確立できるように、児童生徒の生活状況を把握し、必要に応じたアドバイスを行う。

【アプリ等の活用】
霧島市「心の健康観察アプリ」やFormsを活用した取組等（県総合教育センター「指導資料」二次元コード参照）により、児童生徒の状況を捉える。



- ・ 児童生徒1人1人に寄り添った「個別と具体」による対応を進めましょう。
- ・ 学校による「居場所づくり」と児童生徒による「絆づくり」に努めましょう。

★御意見・御感想をお待ちしています。

☎ : 0995-63-8137 ✉ : airaisa-shido@pref.kagoshima.lg.jp



燃ゆる感動 かがしま国体・燃ゆる感動 かがしま大会

特別国民体育大会

2023年10月7日(土)～10月17日(火)

特別全国障害者スポーツ大会

2023年10月28日(土)～10月30日(月)

選手の皆さん、たくさんの感動をありがとうございました!!

応援してくれた皆さん、たくさんの声援のおかげで選手たちは十二分に力を発揮することができました!!

ボランティアの皆さん、たくさんの御協力のおかげで両大会は大成功をおさめました!!

本地区中学生の競技成績

かがしま国体では33競技・174種目で入賞、かがしま大会では過去最多の196個のメダルを獲得しました!!

※ リレーやペア等の団体種目の選手名のうち、下線部が本地区中学生

競技名	種目名	選手名	学校	最終成績	
水泳(競泳)	100mバタフライ	西小野 友晴さん	帖佐中	56秒39	総合15位
	50m自由形			24秒96	総合29位
	4×100mメドレーリレー	(有田, 菊永, 西小野, 江崎)		3分59秒58	総合19位
バスケットボール		佐藤 碧水さん	蒲生中	2回戦敗退	66対77 対新潟県
カヌー (スプリント)	カヤックペア500m	崎山 唯さん	大口中央中	2分6秒086	決勝6位
	カヤックペア200m	(竹野, 崎山ペア)		48秒078	決勝7位
	カヤックフォア500m	末松 柚羽さん 鎌田 瑚子さん (朝岡, 山, 鎌田, 末松)	大口中央中	2分17秒817	準決勝5位
	カヤックフォア200m			1分0秒341	準決勝5位
	カナディアンシングル500m	山下 大翔さん	菱刈中	2分20秒502	準決勝1組8位
	カナディアンシングル200m			56秒546	準決勝2組9位
	カヤックペア500m	内園田 篤獅さん		2分0秒214	準決勝5位
	カヤックペア200m	(赤崎, 内園田ペア)		46秒879	準決勝5位

「双子の大会」 後半の部へと続く...

燃ゆる感動 かがしま国体・かがしま大会は終わりましたが、来年は「SAGA2024」国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会が佐賀県で開催されます。両県では、鹿児島と佐賀の大会を「双子の大会」と位置付け、互いに協力して、「SAGA2024」を成功させようと考えています。「双子の大会」の後半の部に向けて、私たちも協力して「SAGA2024」を盛り上げていきましょう。



SAGA2024ホームページ



プロジェクトロゴマーク

両県では、2年連続での九州開催を契機として、様々な分野での関係深化を図り、その絆を未来につないでいくプロジェクトを推進しています。

SAGA2024のカヌー競技(スラローム・ワイルドウォーター)も、湧水町轟の瀬特設カヌー競技場で開催予定!!



飲酒運転の根絶

飲酒運転は、命に関わる重大事故につながる
可能性が高い絶対に許されない行為

誤った認識をもっていないですか。

「自分自身の日頃の意識」や「行動」を常に確認しましょう。

誤った認識

- 少量なら運転しても大丈夫
- 仮眠をとれば大丈夫
- 翌日になれば大丈夫
- 自分が運転しなければ大丈夫

正しい認識

- たとえ一口でも、飲酒したら絶対に車両を運転しない。
- 飲酒後、同僚に車両を運転することがないように声かけする。
- 深夜まで飲酒した時は、翌日、運転しない。

「大丈夫」ではありません。

- 呼気中アルコール濃度0.15mg/l 以上で酒気帯び運転
- 飲酒運転であると知りながら同乗すると、道路交通法第65条第4項に違反

飲酒していない場合に比べ、死亡事故率は約7.1倍(令和4年 警察庁調べ)

